



# 遠絡統合医学

## Cコースセミナー

上位中枢性疾患の理論と臨床

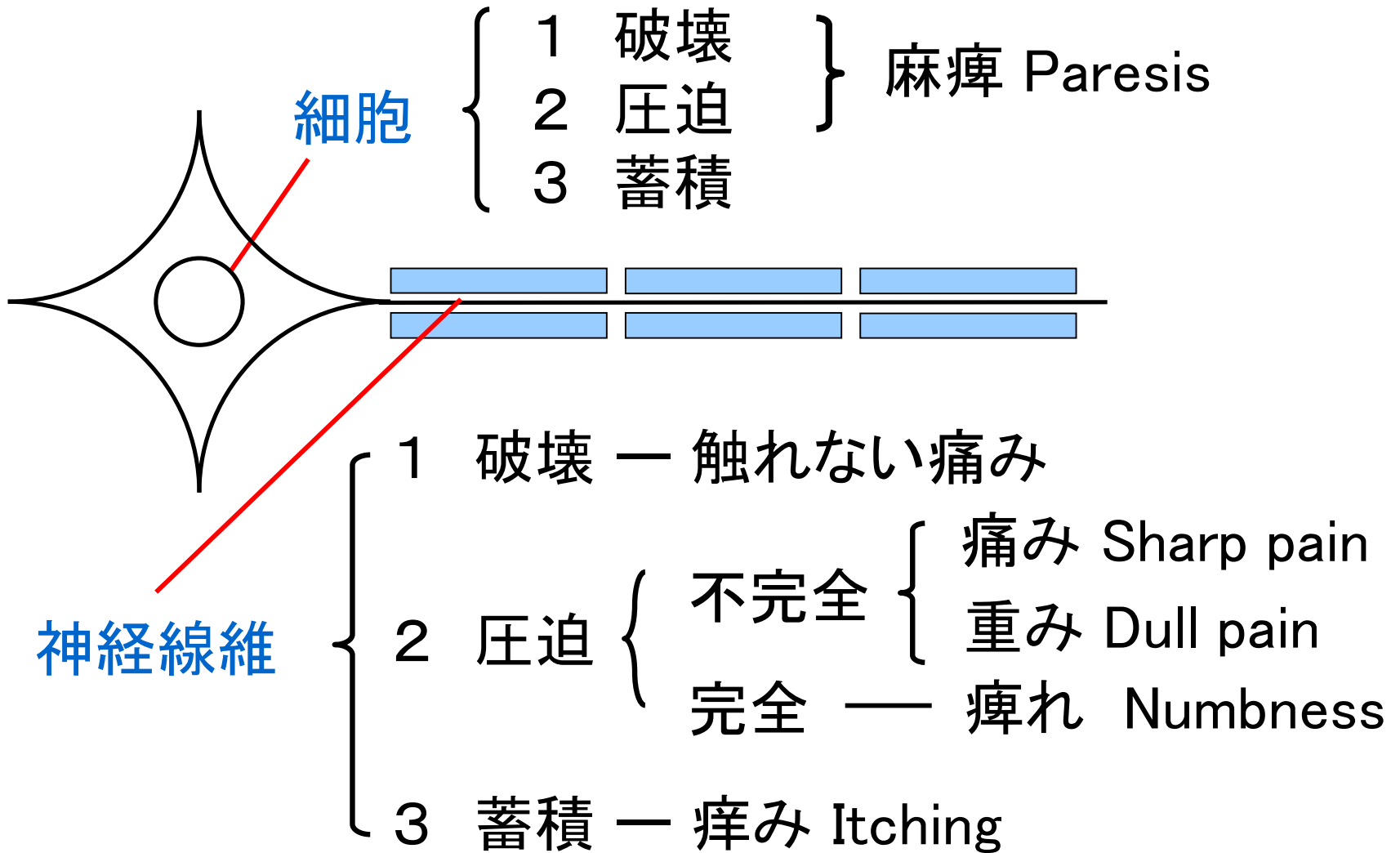
講師：柯尚志医師（遠絡医学創始者）

第3日目（全4日間）

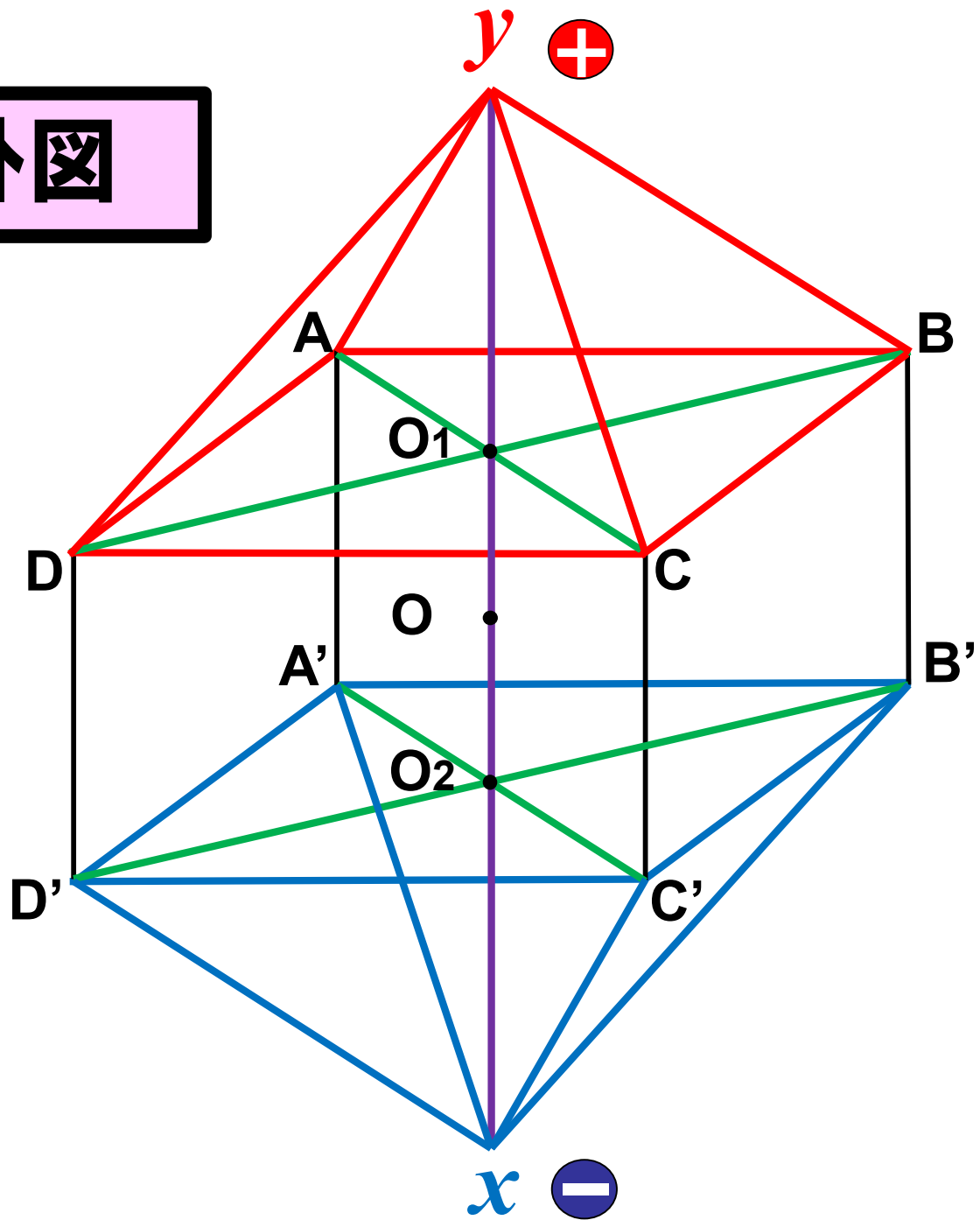
**JMAI**

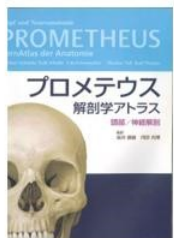
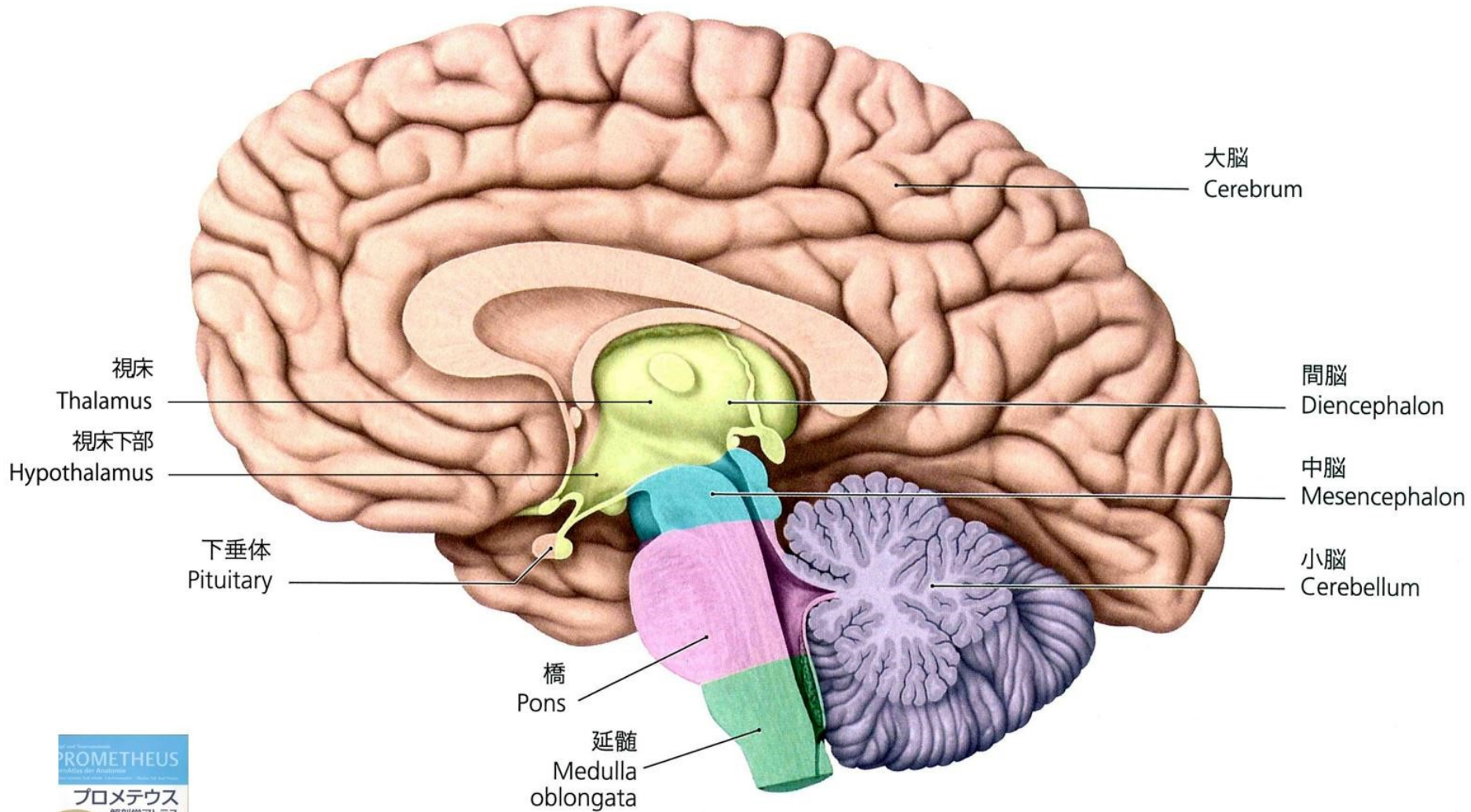
一般社団法人 日本遠絡統合医学会

# 神経単位と症状の対比分類



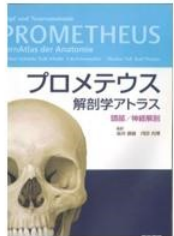
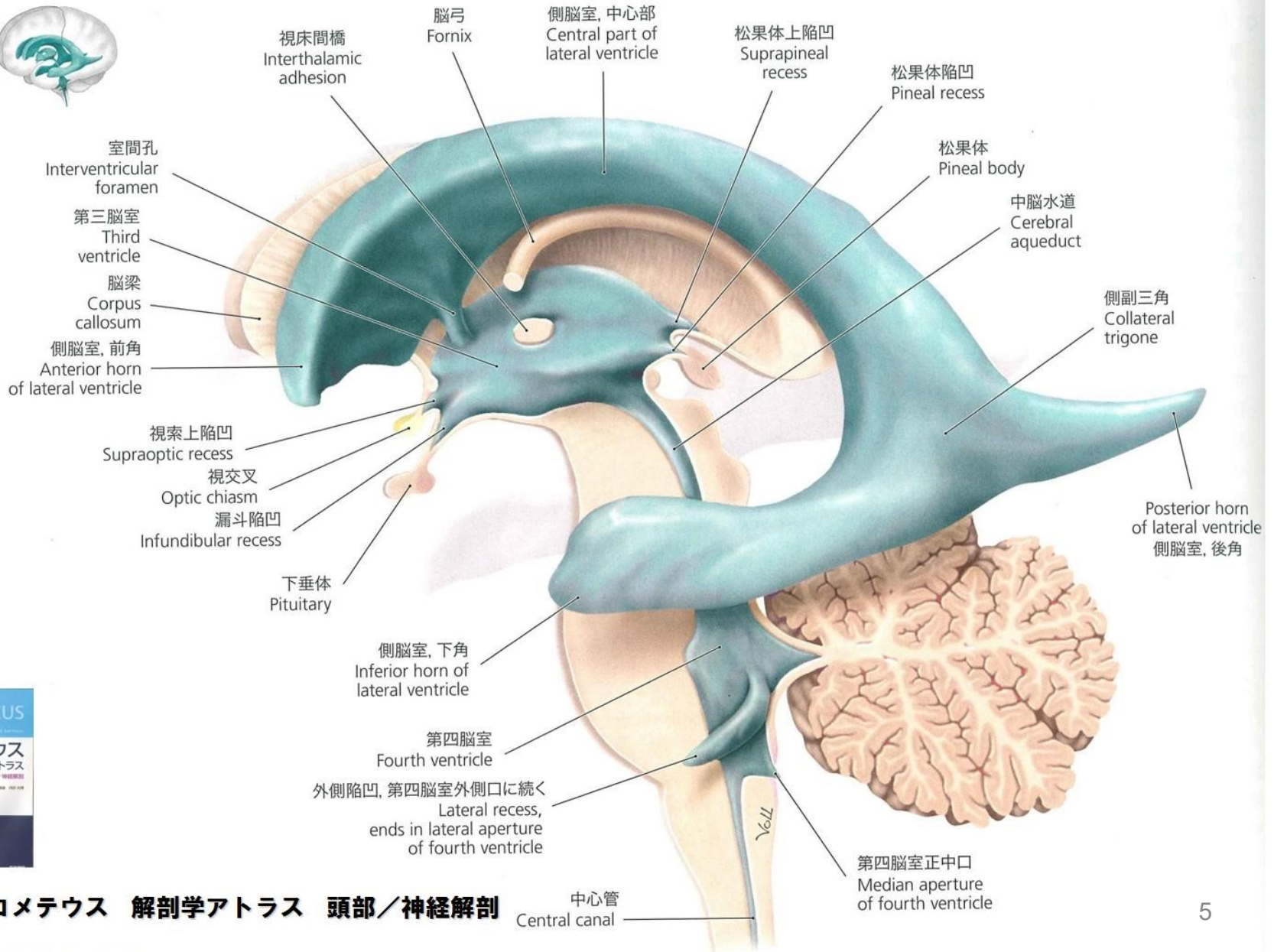
# 遠絡八卦圖



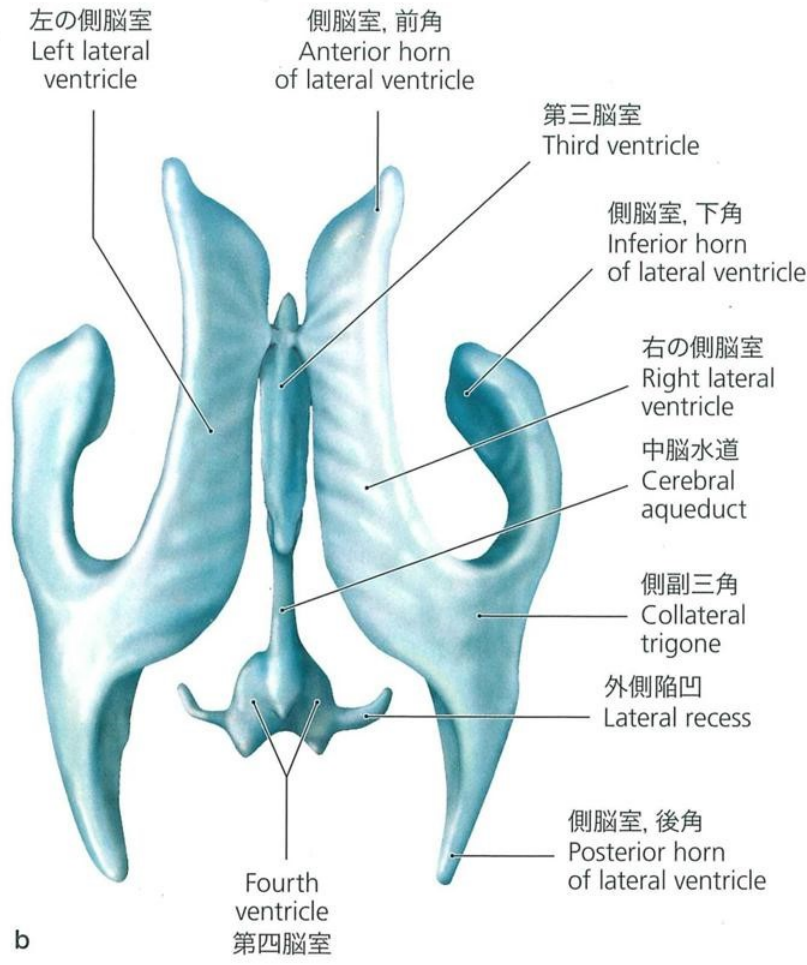
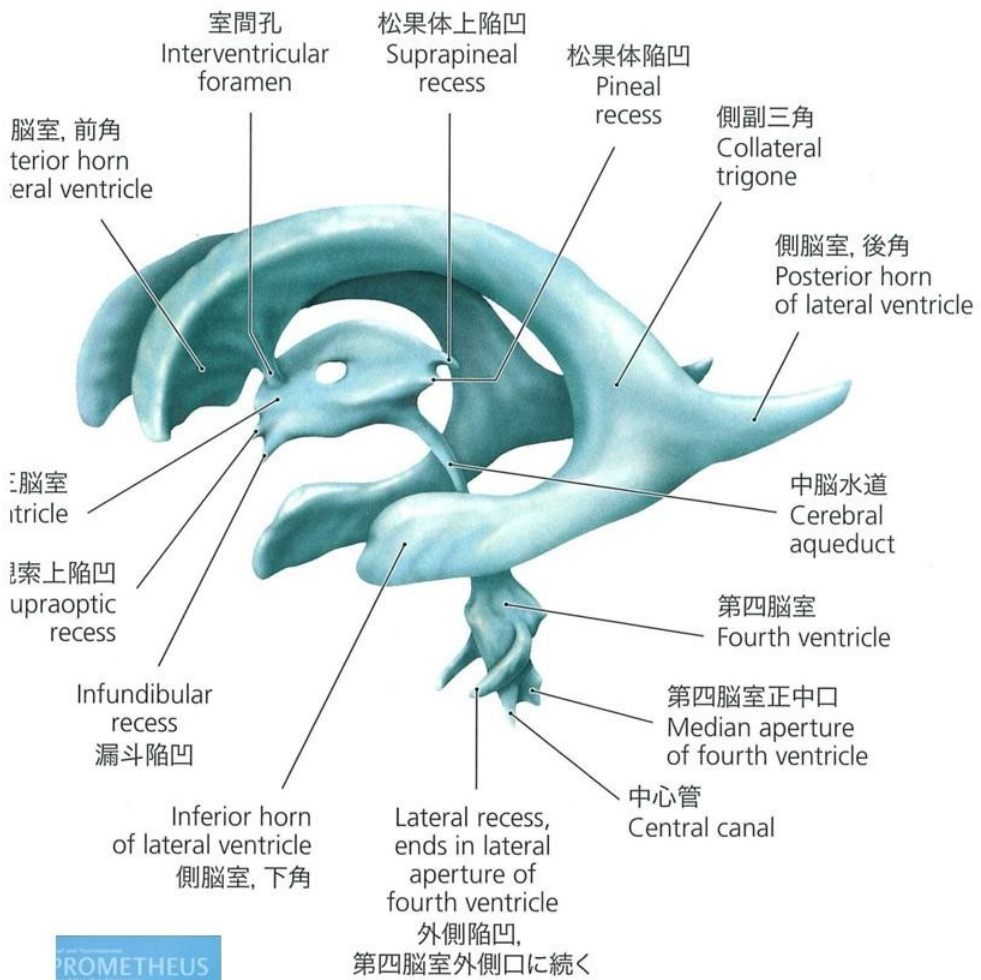




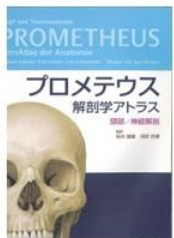
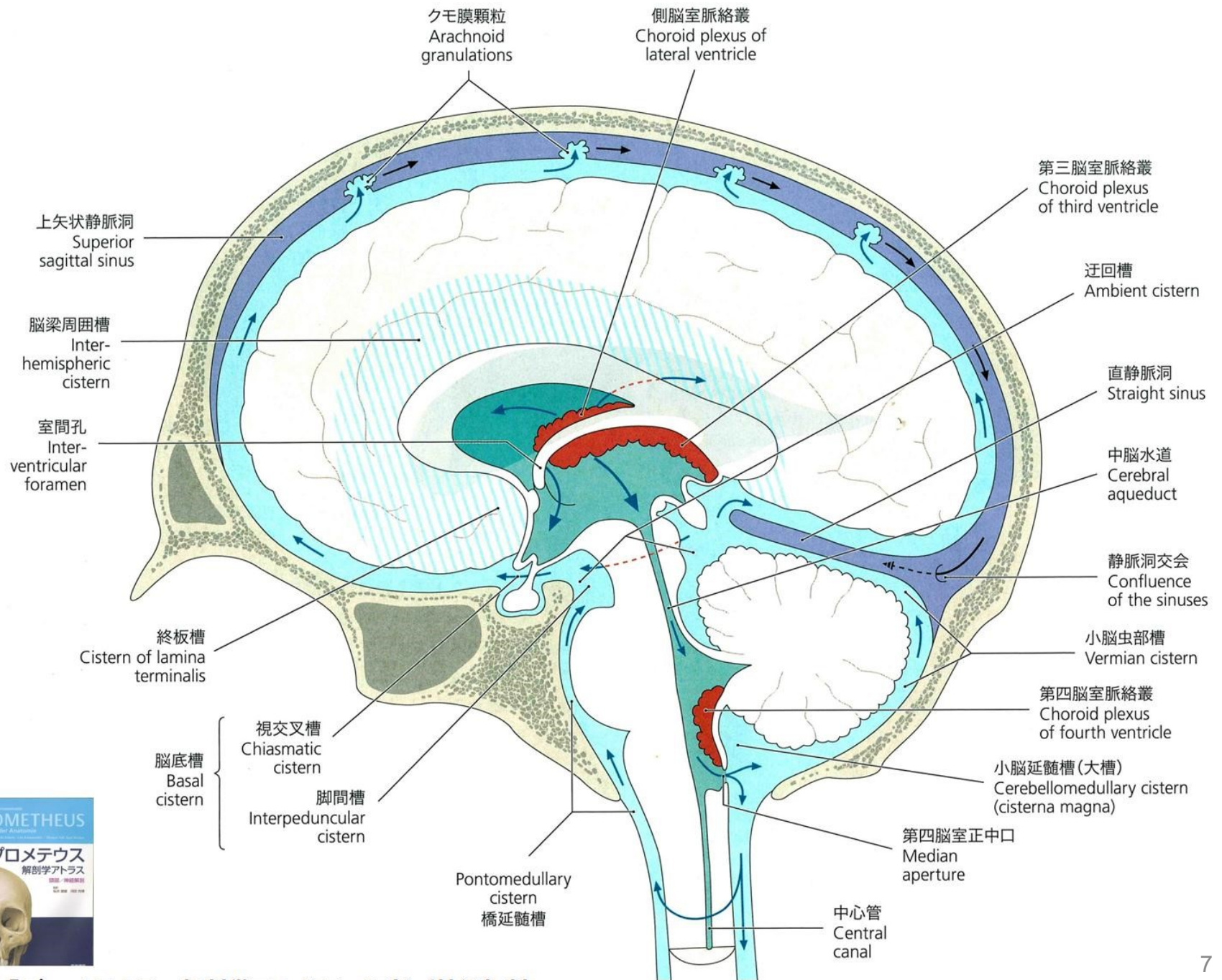
# 脳室系



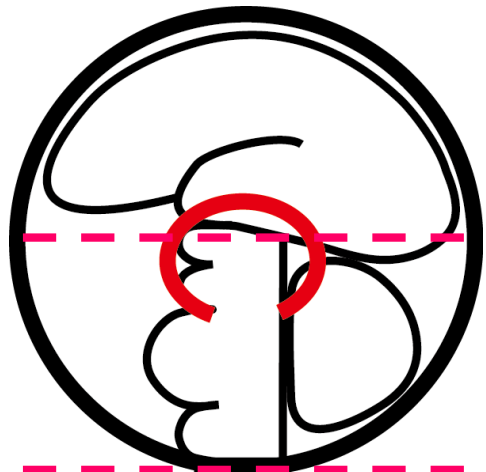
# 脳室系







c+d



上位脳

bc

視床

bc

下位脳

c

C1 atlas

a

C-spine

C7 / T1

bc

T-spine ~ L2

c

L2 / 3

a

L2 ~ S1

bc

S1 ~ S4

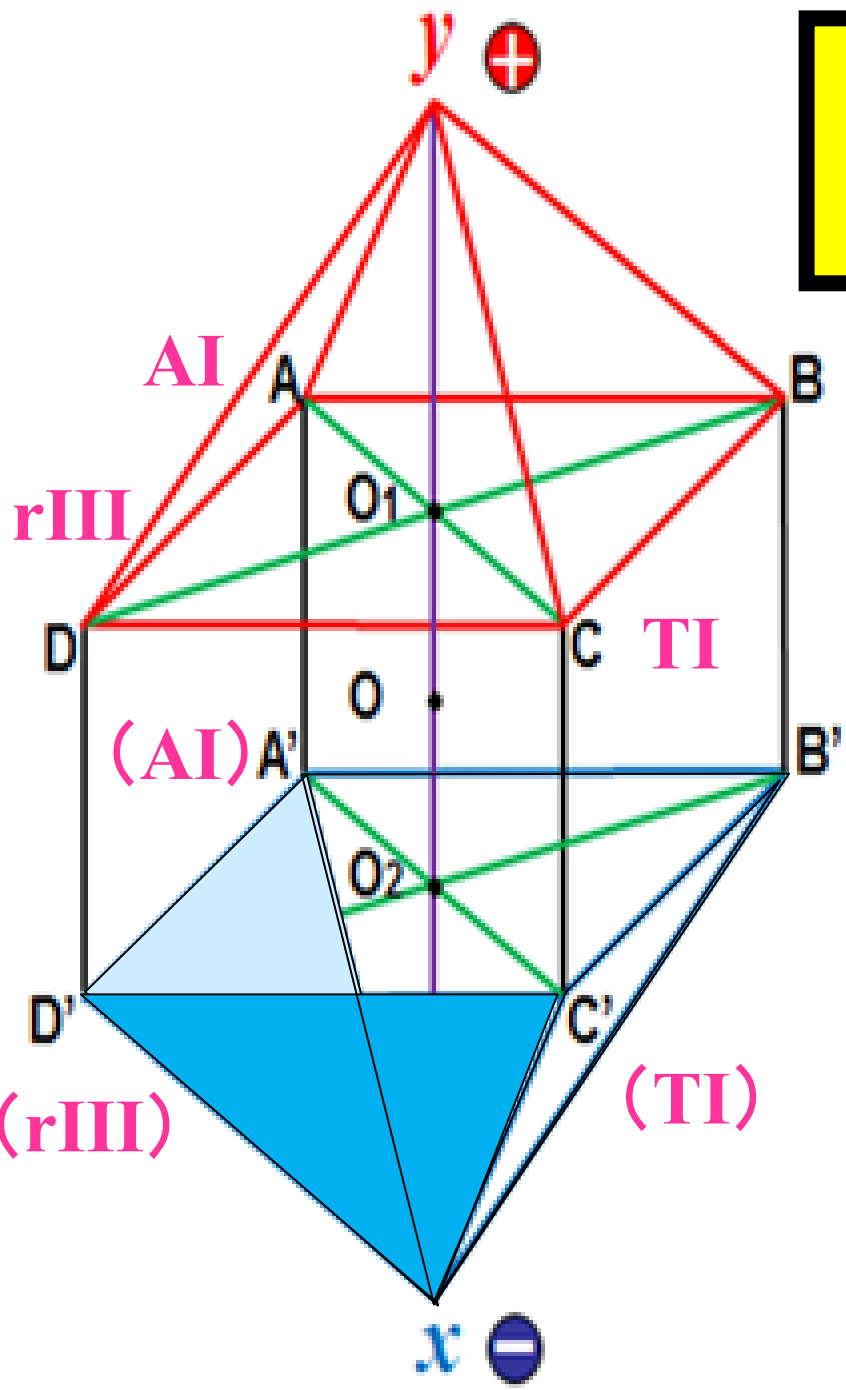
c+d

尾椎・陰部

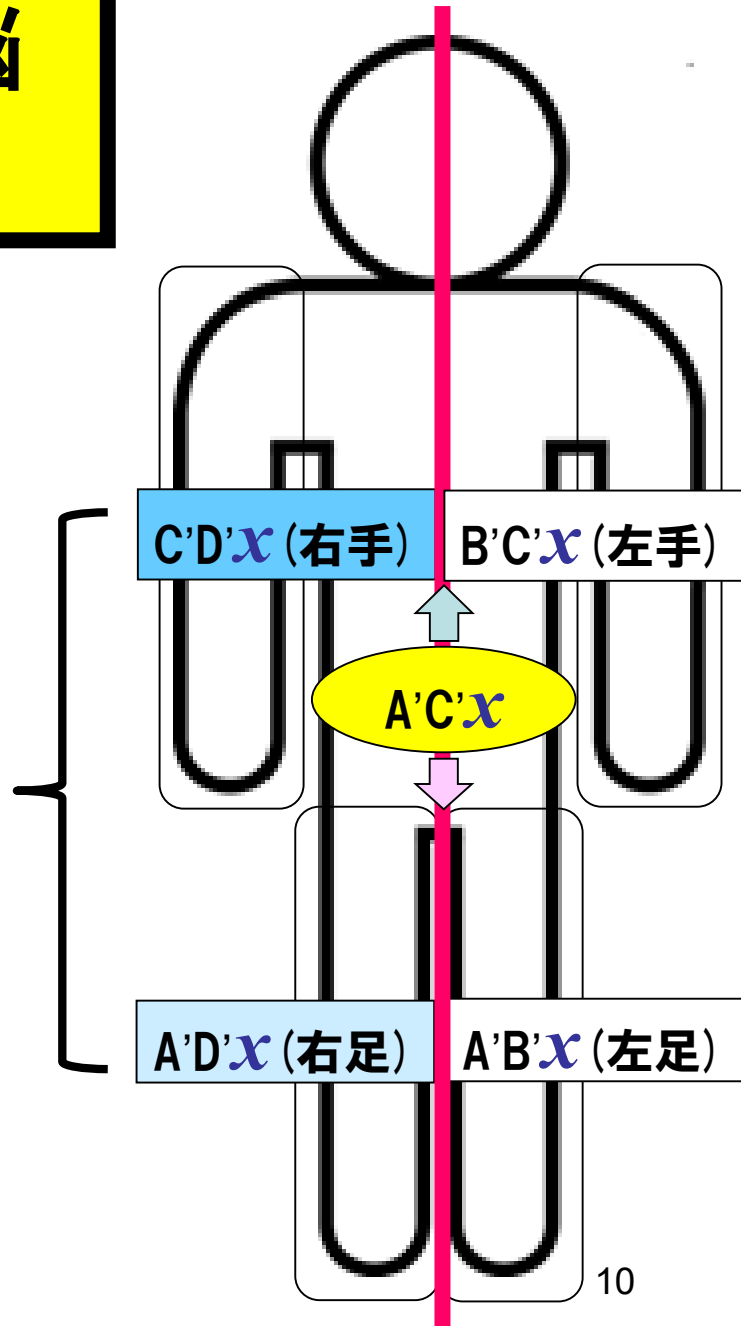


# 上位脳

**上位脳**  
 $yAC$



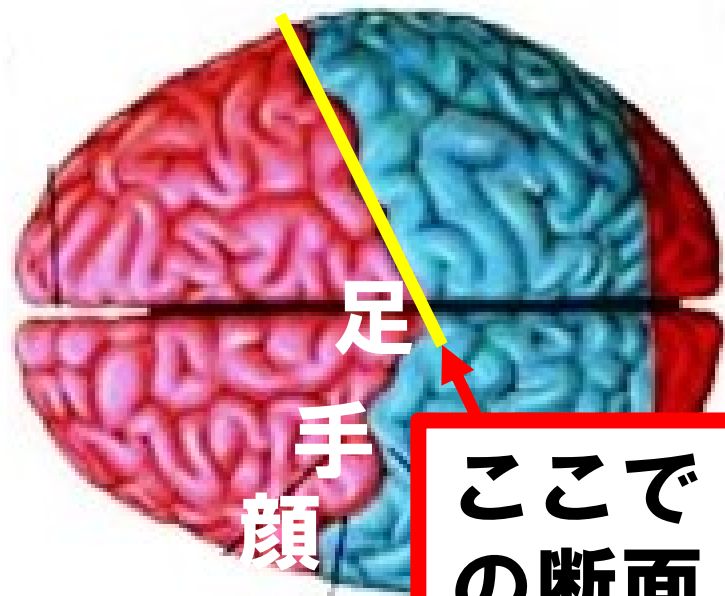
同側上下肢の症状



前 ← → 後

内側 ← → 外側

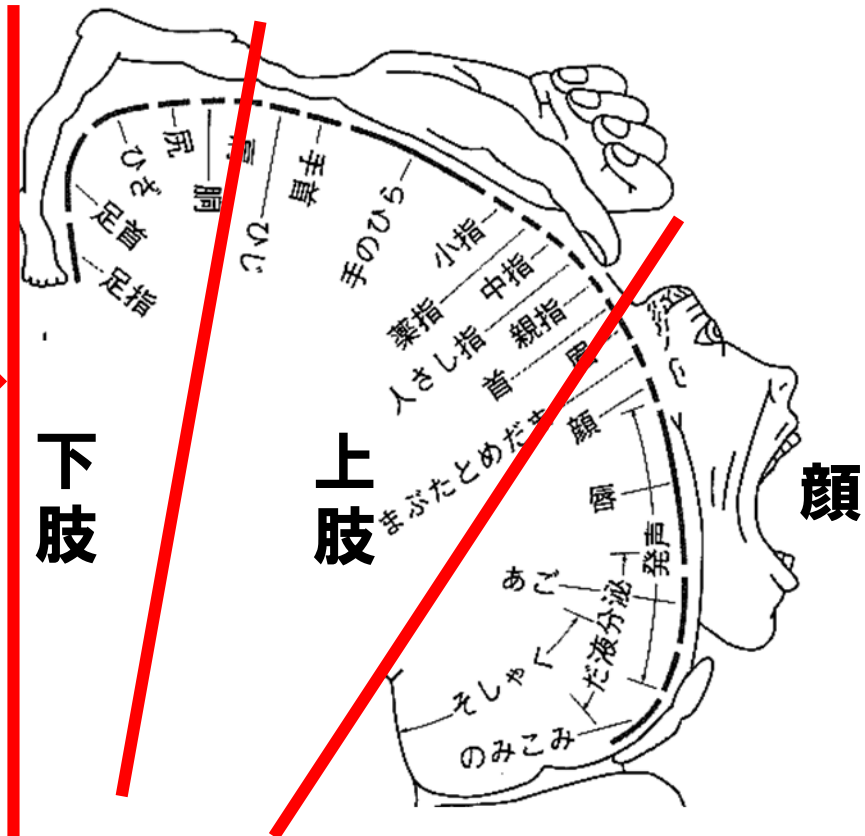
上



ここでの断面



内 中外 外



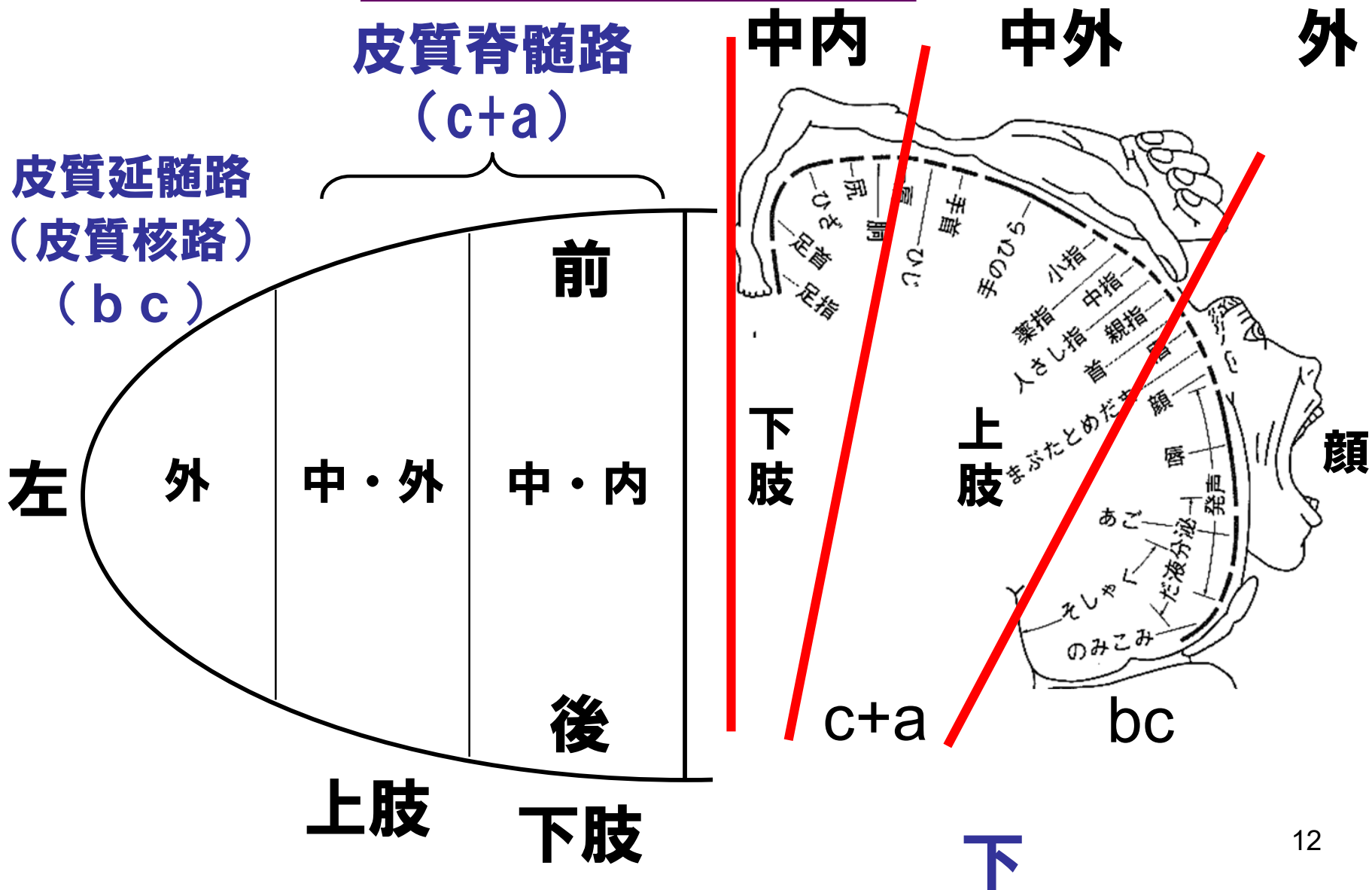
c+a

bc

下

前 ← → 後      内側 ← → 外側

**運動系遠心路**





錐體路	皮質脊髓路				皮質延髓路
大腦	中・内		中・外		外
	前	後	前	後	
上肢	近位側	/	近位側 ~ 遠位側	遠位側	/
下肢	遠位側	近位側 ~ 遠位側	/	近位側	/
面	/	/	/	/	顔・側胸部・坐骨部
<b>c+a</b>					<b>bc</b>

皮質脊髓路 (c+a)

前

上肢

皮質延髓路 (b c)

近位側

近位側

遠位側

左

外

中・外  
(上前)

中・內  
(下後)

遠位側

近位側

近位側

顏・側胸部・坐骨部

下肢

後

# 運動麻痺：上位脳～細胞圧迫・破壊

## 大脳内側の細胞圧迫または破壊

麻痺	近位	遠位
上肢	陽経	陽経
下肢	陰経	陽経

# 上位脳障害の診断

①脳血管障害：急性発症

②一側上下肢の麻痺

※(完全)麻痺とは？ 表在知覚(温・痛・触・圧)↓  
(深部知覚(位・平・運・振)↓)  
運動麻痺(+)

上肢 = 近位・遠位共に陽経 (Ty I・Ty II が重い)

G-P test (陽性) (※グーパーテスト)

下肢 = 近位：陰経 遠位：陽経 (drop foot)

③顔面：中枢性麻痺(前額部を除いたbc領域)

神経交差(視床)より下の麻痺



# 大脳と視床の関係

	手	足
大脳	前 中外	後 中内
視床	後	前

# 運動伝導路

(大脳－視床)の鏡面反射

前 ↔ 後

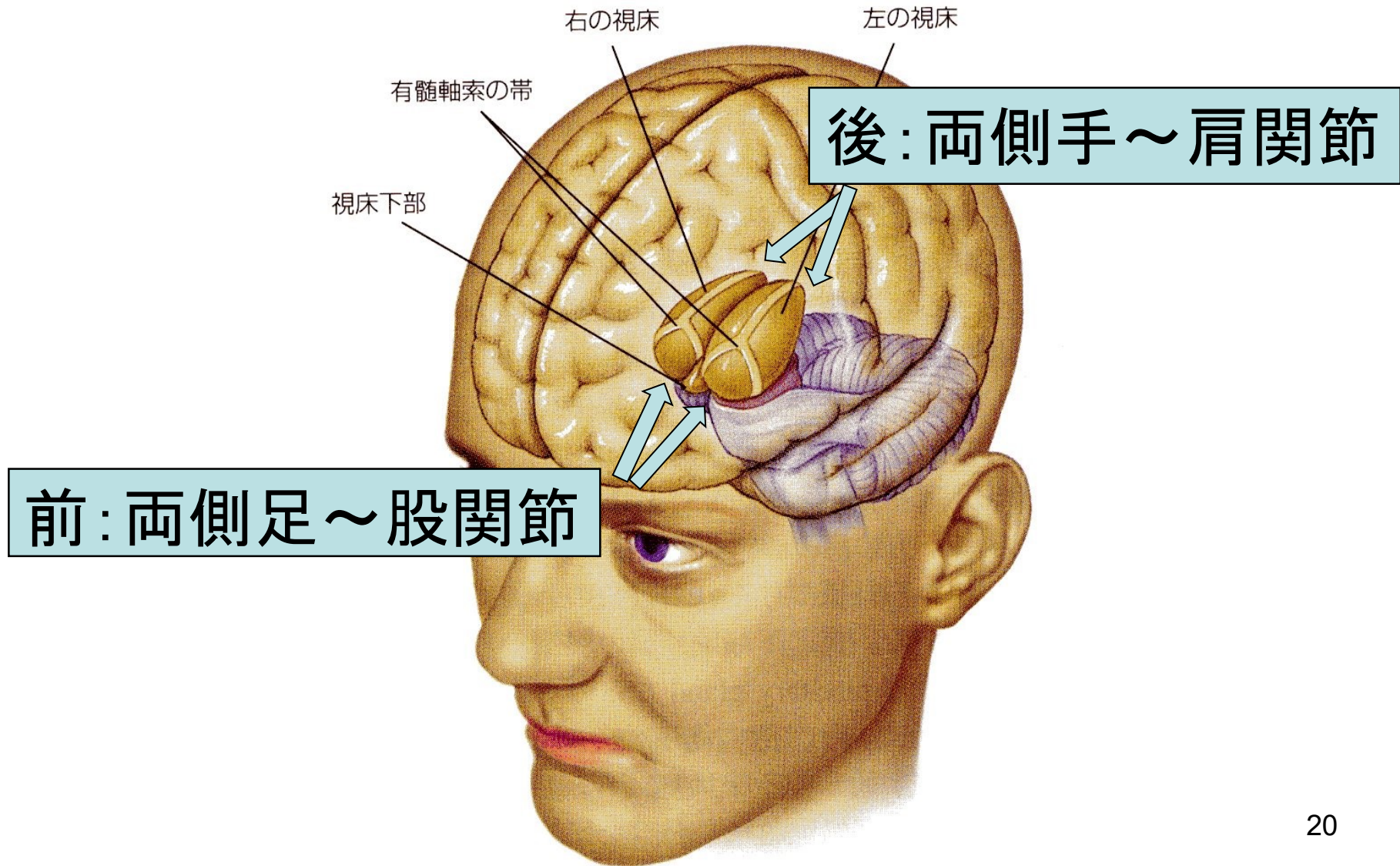
左 ↔ 右

(上下・中内・中外・外は同じ)

# 視床の細胞圧迫（破壊）症状

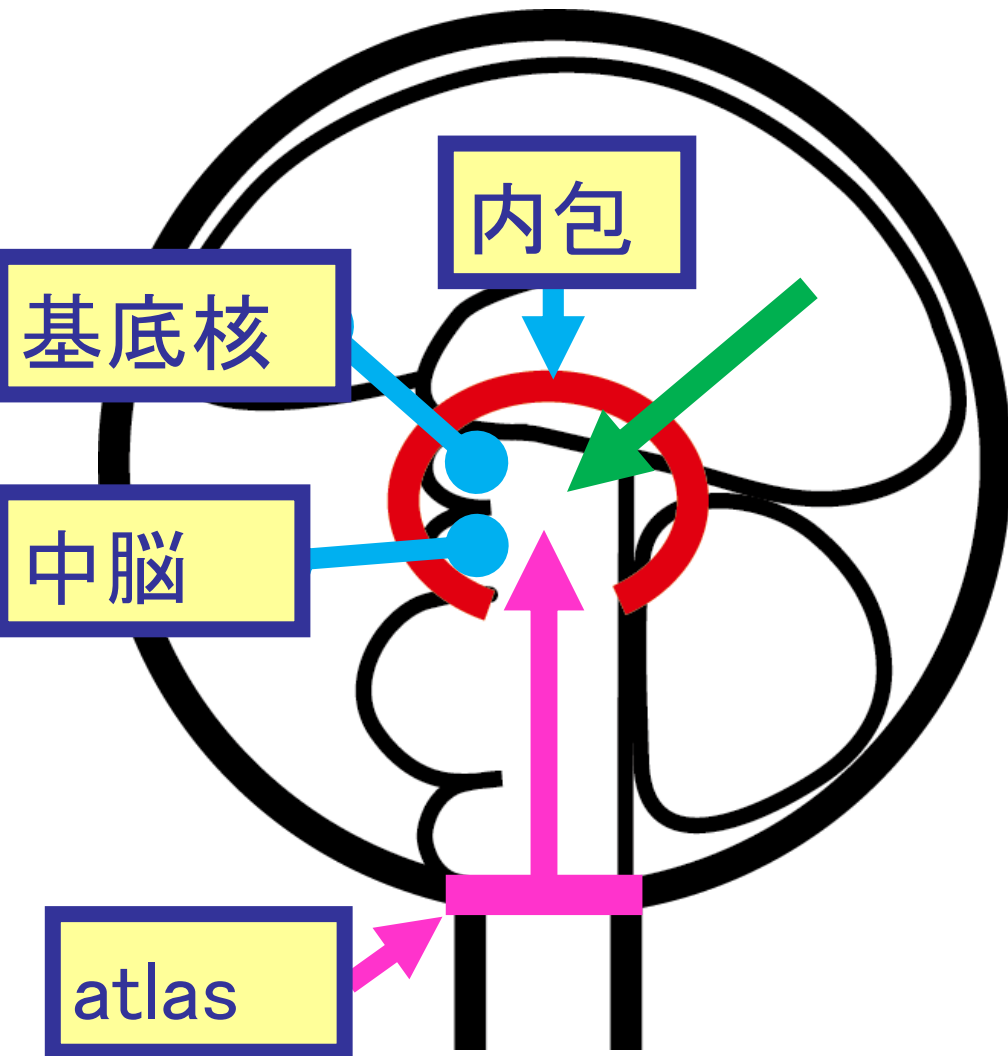
	上・前	下・後
上肢		近位 (肩関節)
下肢	近位 (股関節)	

# 視床





# 内包の内側



ウィルス感染  
 Huntington 舞踏病  
 解離性運動障害  
 Parkinson 病  
 両側性振戦  
 筋硬縮 (+)  
*l*-Dopa 有効  
 ENRAC 無効

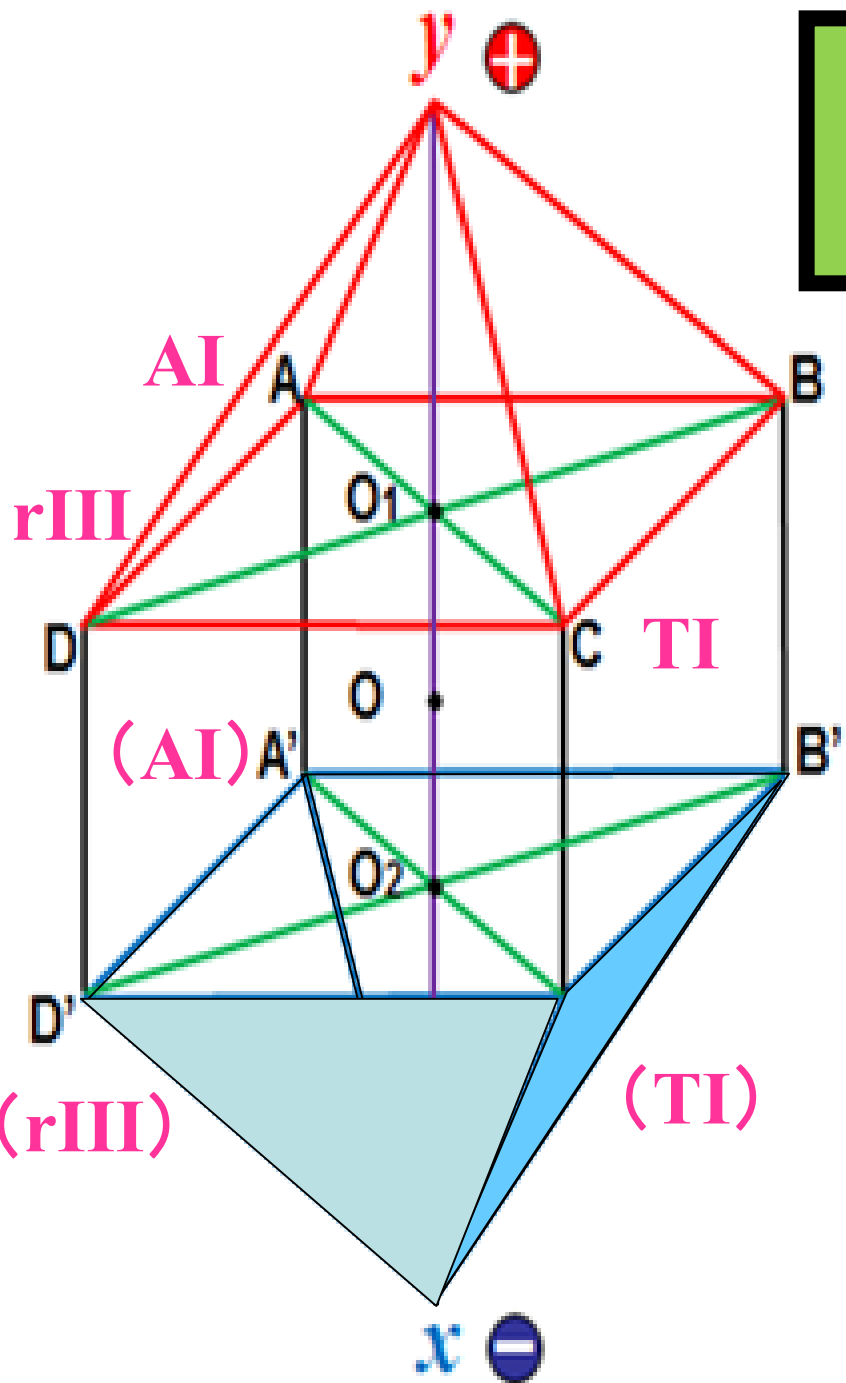
atlas から上方へ蓄積  
 Parkinson 症候群  
 片側性症状  
 筋硬縮 (-)  
*l*-Dopa 無効  
 ENRAC 有効

# 内包の内側の障害の主な症状

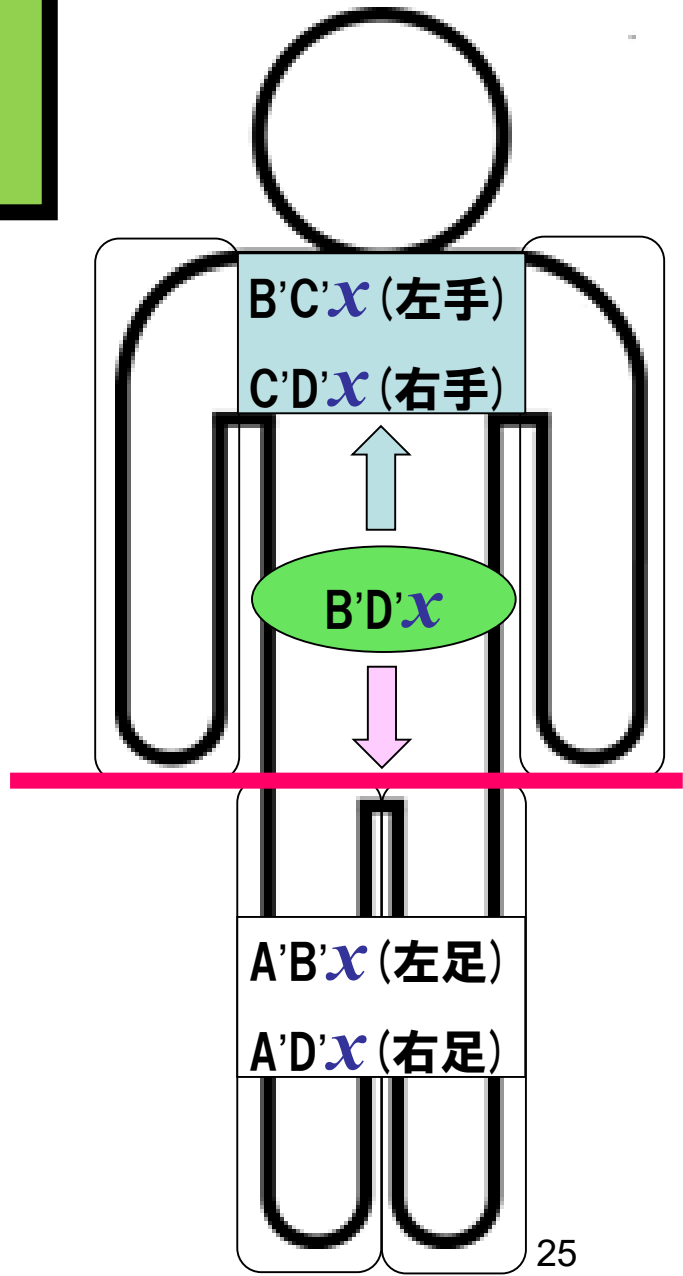
- ①中脳黒質変性    パーキンソン病  
                         両側性振戦    硬直(十)
  - ②基底核  
                         ハンチントン舞踏病  
                         解離性運動障害
  - ③パーキンソン症候群  
                         内包の内側(中脳黒質・基底核)への延髄・  
                         橋からの炎症の波及による蓄積症状  
                         症状は片側性・硬直(一)・L-Dopa無効
- ※ ①②いずれも「内包の内側・ウイルス感染・BBB通さない  
・L-Dopaが有効・ENRAC無効」  
③はENRAC有効

# 下位脳

下位脳  
 $yBD$



両上肢又は両下肢の症状



# 下位脳障害の診断

- ① atlasの炎症から、  
まず、間脳の髄液蓄積症状が出て、進行すれば  
延髄炎症症状（下位脳神経症状）が出てくる。
- ② 間脳蓄積症状：両側性の上肢或いは下肢の症状  
機能性障害（自律神経失調症・アレルギー・免疫・  
冷え性            etc）
- ③ 延髄の症状は迷走神経・副神経・疑核・孤束核等  
の炎症性症状として出易い。

# 蓄積症状

Atlasの炎症に伴い「life flow」の流れが阻害されて起こる症状。  
主に、次の3つで考える。

- ①髄液
- ②血液
- ③リンパ



# 髄液の蓄積症状

- ① **atlas**の炎症で延髄背側の**正中孔**が圧迫される
- ② 「**IV脳室**→**中脳水道**→**III脳室**→**Monro孔**→**側脳室**」と**髄液の蓄積**（側脳室拡張）が起こり、
- ③ まず**側脳室前角の拡張**により**視床前部**が圧迫され細胞の圧迫により**股関節の麻痺**→**両下肢が重く上げ難くなる**
- ④ 更に進行すると、**後角が拡張し**、**視床後部**が圧迫され**肩関節の麻痺**→**両上肢挙上困難**
- ⑤ 脳室が全体的に拡張すると**辺縁系**の圧迫により、**運動性感覚障害**等の症状が出る。

# 血液の蓄積症状

1. **atlas**の炎症で**両側Ay III**が圧迫される
2. **間脳**(**視床・視床下部・脳下垂体**)の症状が主
  - ①**視床** 睡眠障害(視床下部も関与)  
目が重い・頭重感・すっきりしない  
集中力低下  
両足・両手末梢からのしびれ etc
  - ②**視床下部** 自律神経失調症(イライラ・情緒不安定・うつ・恐怖強迫症 etc)  
冷え症 etc
  - ③**脳下垂体** アレルギー性疾患(アトピー・鼻炎等)  
月経困難症・痤瘡・内分泌障害 etc

# リンパの蓄積症状

- ①リンパの産生・・・**胸腺**が中心
- ②atlasの炎症で同レベルでリンパの流れが圧迫
- ③atlasから上方へのリンパの流れが滞り、内耳を含めてリンパが薄くなる→**眩暈**(内耳神経関与)  
頭蓋内の**免疫力の低下**→**脳腫瘍**の可能性↑
- ④側弯等でリンパが圧迫されると、そのレベルの**内臓に発癌**リスク↑

# 手足の冷えと痺れと脱力感の関係

1. **atlas**の炎症で**Ay III**が圧迫されると延髄(下方)から視床下部(上方)に向かって**血液の蓄積**が始まる。
2. まず**視床下部**の**下部後方**から**細胞蓄積**が起こり、**両手の冷え症**が出現し、徐々に**上部前方**へ蓄積が及ぶと、**両足の冷え症**も出てくることになる。
3. 視床下部の**上前方**に及んだ蓄積の**容積飽和度**が上がってくると**冷え症**が末梢側から始まる**両足→両手の痺れ**と変化する。
4. 更に容積飽和度が**閾値**を超えて**細胞圧迫**に変わると、視床下部が全体的に圧迫され**両下肢→両上肢**の**麻痺**が出現することになる。
5. 圧迫が延髄近傍まで及ぶと呼吸障害等が出現することになる  
(**Guillain-Barré症候群**)。治療は両側**Ay III / bc+c+a / bc+c+a**

# 腦神經

# 脳神経圧迫の主な症状

## 脳幹(中脳・橋・延髄)

- ①Cr. I : 嗅覚障害
- ②Cr. II : 視覚障害
- ③Cr. III・Cr. IV・Cr. VI : 眼球運動(複視)
- ④Cr. V : 三叉神経痛(内から外への横ラインの痛み)  
舌の表在知覚(痛み)  
(atlas level・脊髄障害は顔面縦ラインの痛み)
- ⑤Cr. VII : 末梢性顔面麻痺 顔面のつっぱり・重み  
舌・前 2/3 の味覚(甘味・塩味・酸味)  
涙腺(Dry eye)  
顎下腺・舌下腺(Dry mouth)

# 脳神経圧迫の主な症状

- ⑥Cr.VIII: 内耳障害 (聴覚障害・眩暈)
- ⑦Cr.IX: 舌・後 1/3 の味覚 (苦味・辛味)  
耳下腺 (Dry mouse)
- ⑧Cr.X: 副交感神経 相対的交感神経亢進  
脊髄レベル T12~L2・T2~T6を支配  
反回神経 (嗝声)  
弛緩性腹部  
内臓障害 (腎臓・膵臓その他)  
疑核 (筋の強弱)・孤束核 (粘膜) と関係



# 脳神経圧迫の主な症状

- ⑨Cr.XI: 後屈障害(筋の大小と関係)  
肩・頤のコリは両側性  
(atlas level・AyⅢの圧迫では一側性)
- ⑩Cr.XII: 舌の運動(障害側へ舌変移)

# 嚥下障害（飲み込み難さ）について

## 嚥下の仕組み

1. 第Ⅰ相：顔面神経と疑核の関与  
筋肉の収縮力・舌下腺と顎下腺（顔面神経支配）  
障害されると「飲み込む力が無い」状態
2. 第Ⅱ相：耳下腺（舌咽神経）・副神経の関与  
障害されると「乾燥していて唾液が少ない」感じ
3. 第Ⅲ相：反回神経（迷走神経）の関与  
障害されると「ものがつかえている」感じ

# 延髄の炎症→迷走神経の症状

1. **副交感神経低下**及び**相対的交感神経亢進**
2. 主として「**T12~L4**」と「**T2~T6**」を支配
  - ①. **T12~L4** → 同側支配領域の血管収縮 → 支配領域の内臓・筋肉・骨の脆弱化 → 対側への側弯 → 同部位でのリンパ圧迫 → 発癌リスク ↑ etc
  - ②. **T2~T6** → 血圧 ↑ (相対的交感神経亢進) 多汗症 (**T2~T4**) (同上) 側弯 etc

# 中枢の概念

# 中枢の概念

1. 神経

2. 粘膜

3. 筋肉

4. 腺

の4つに分けて  
考える

# 1. 神経

## ① 知覚神経

視床・視床下部 → SC

## ② 自律神経

迷走神経(X)・・・副交感神経  
(相対的に交感神経)  
脊髄傍AxⅢを支配

## 2. 粘膜

孤束核 (VII・IX・X・XI)

障害されると、

気管支喘息 (疑核も関係)

空咳

ポリープ (胃・大腸・声帯 etc)

口腔粘膜の乾燥 (喉の違和感)

骨折 (骨膜の障害による)

外骨腫

等々



### 3. 筋肉

#### ①強弱(収縮力) **疑核(Ⅸ・Ⅹ)**

すべての**括約筋**を支配

障害されると

気管支喘息(**孤束核**も関与)

便意のある便秘

残尿・放尿線の勢い減弱

胃液の食道への逆流 etc

#### ②大小(範囲) **副神経(Ⅺ)**

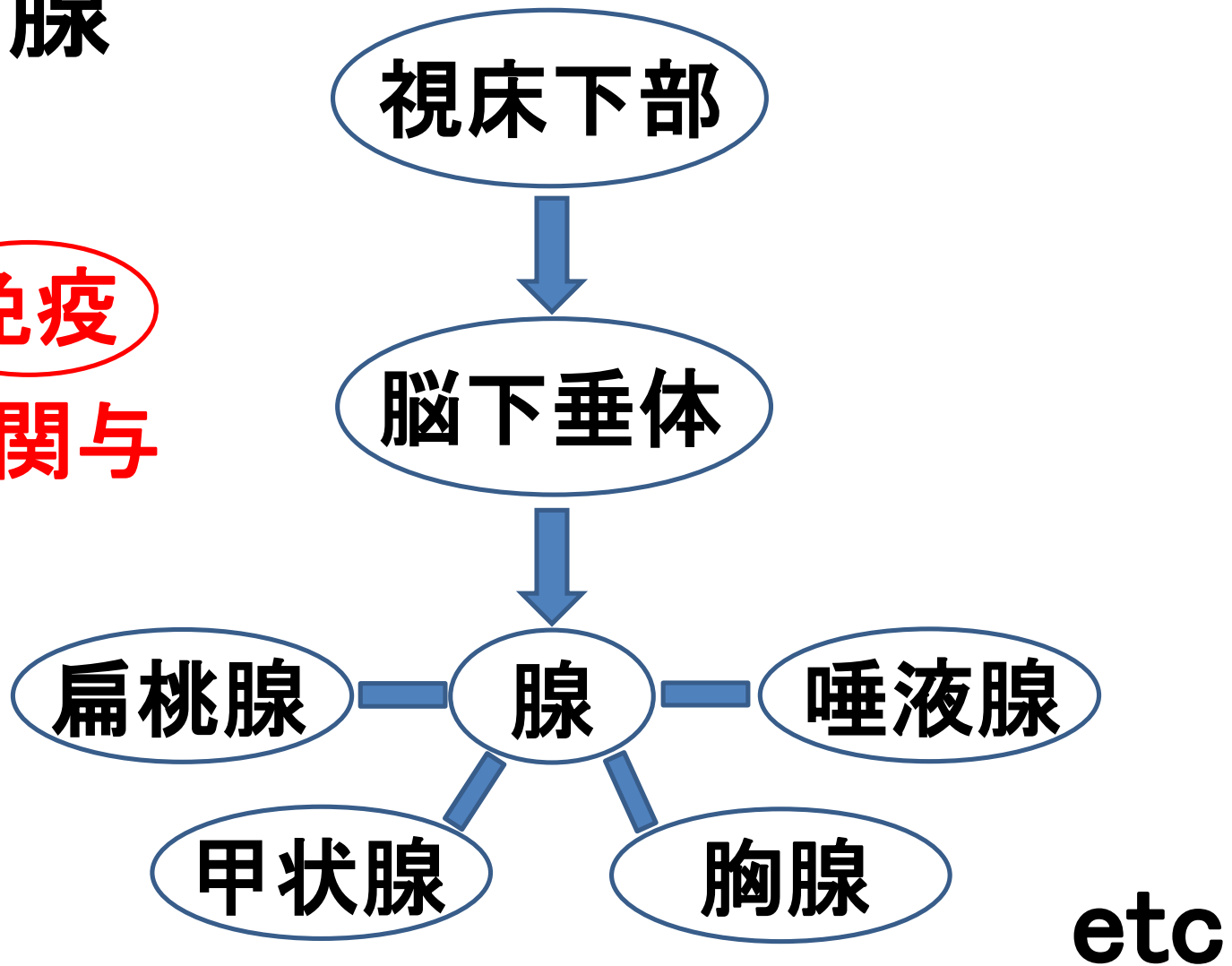
**僧帽筋・胸鎖乳突筋**を支配

障害されると

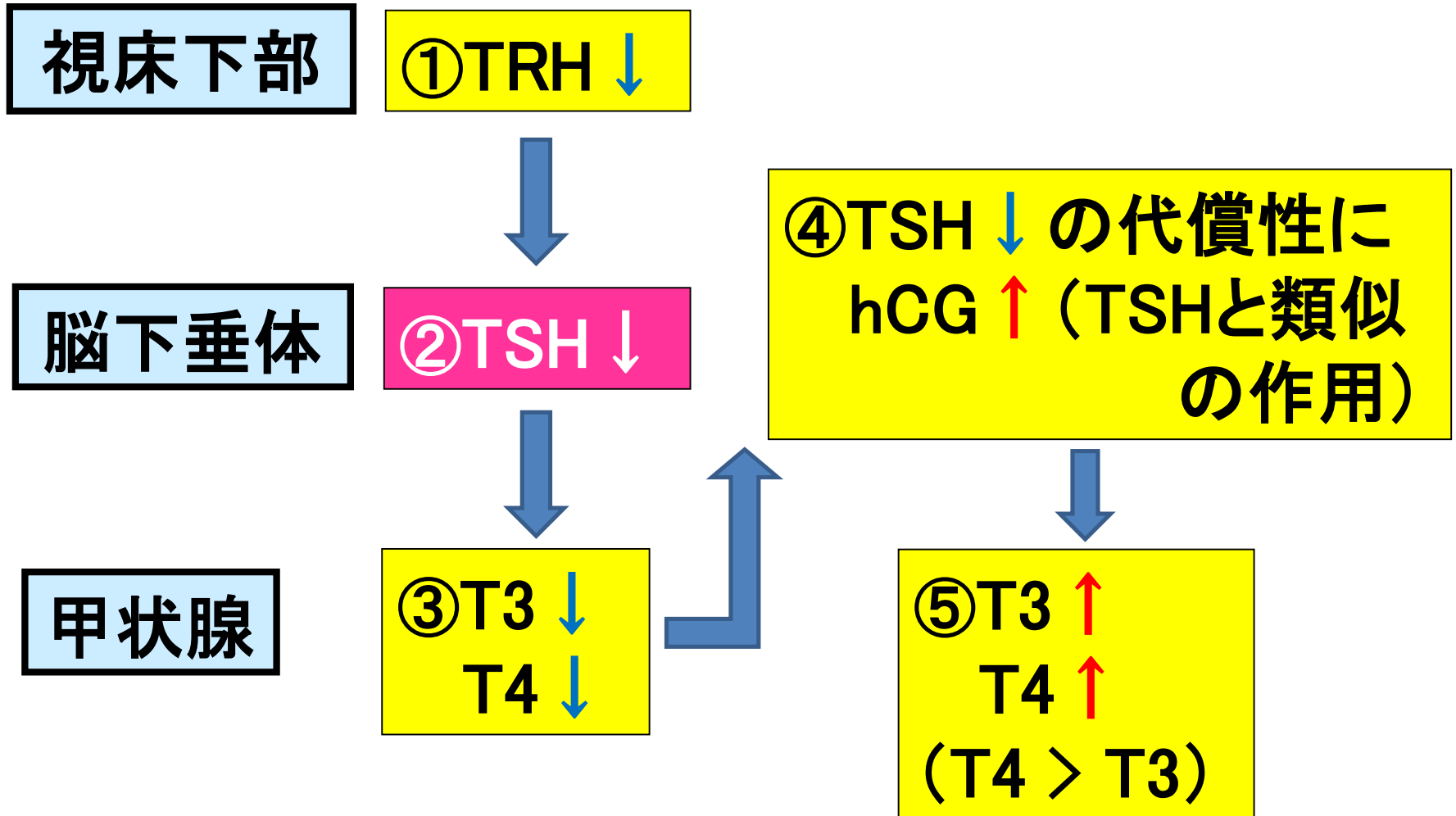
頭部後屈障害・斜頸 etc

# 4. 腺

免疫  
に  
関  
与



# 甲状腺機能亢進症の例



# 症例検討

# 症例 1

77歳 女性 1/2

主訴: 両上腕痛、肩こり  
両上腕挙上困難

## 病歴

10代から	不正出血
34歳	虫垂炎 手術
57歳	左膝蓋骨骨折
65歳	右膝痛(AxI)

# 症例 1      77歳      女性      2/2

- 70歳      大腸ポリープ ope
- 76歳      アレルギー  
            (初診時も左顎関節周囲に湿疹)
- 77歳      左股関節痛(AxII)  
            →2カ月後 両上腕痛  
                (中部～肘関節周囲)  
            →10日後激痛化(2日間)
- 初診時      両上腕痛(発症時程度)  
            肩こり+++ 冷え症+  
            頸部後屈時肩痛+  
            両上腕挙上困難

# 症例 2

# 40歳 女性

主訴：子宮筋腫

病歴：

20年前：階段で転倒し、尾骨を打撲。

腰痛となったが自然治癒。

10年前：両手足の冷え、不眠、Dry Eye、

頸肩こり。

5年前：排卵痛（左下腹＞右下腹）、

夜は痛みで目覚める

それに伴い、腰の重だるさ→右後臀部

→右大腿外側、月経が始まると痛みが軽減する



病歴:

34年前: 便秘、腹部膨脹感、検査は異常なし

31年前: 右手で字を書くと震える

26年前: 中学1年生の頃、バイク交通事故で  
数時間意識不明状態だった

22年前: 視力低下(左>右)

20年前: 自動車交通事故で意識不明

18年前: 右手の震え→右足も震える

病歴：

15年前： 平衡感覚低下、よく転倒する  
不眠、頻尿、両手足の痺れ

8年前： 呂律不良が発生する

3年前： 腰が重だるい

2年前： 幻聴、まれに耳鳴りがする（両側）

去年： 複視

# 症例 4

# 51歳女性1/2

主訴: ①難聴(左>右) 耳鳴り

②花粉症

③更年期症状

(発汗、頭痛、不眠、冷え症、高血圧)

## 病歴

4～5歳から小学生まで 魚貝類のアレルギー、  
乗り物酔い、耳鳴り

32歳 バイクに乗っていて衝突事故  
右肘骨折、足第3趾骨折(左右不明)

33歳 花粉症(春と秋)⇒現在も続いている

# 症例 4

# 51歳女性

2/2

- 45歳 難聴(左>右) ※自分では気づいていなかったが検査にて発見  
耳鳴り⇒現在も変わらず
- 48歳 閉経後更年期の症状が出始める  
下痢もしやすい
- 50歳 歩行中後方から自転車が衝突してきた  
最近になって両肩コリが出現  
現在に至る
- 初診時 発汗、頭痛、不眠、冷え症、高血圧あり

# 症例 5

76歳

男性

1/2

主訴: 左顔面痛(三叉神経痛)

病歴

36歳 鉄の蓋で頭部を強打

⇒脳挫傷で1ヶ月入院 特に後遺症なし

46歳 30年前 狭心症

66歳 10年前 左の上歯を治療していた

突然左顔面に触れない痛みが出現

70歳 前立腺癌 薬と月1回の注射で加療中

(オダイン、フィリバス)

⇒現在 この1年でPSA値が0.1程度に上昇

聴力低下 (Rt > Lt)

# 症例 5    76歳    男性    2/2

- 71歳    完全房室ブロック  
ペースメーカー埋入
- 72歳    便秘、肩凝り
- 73歳    半年間痛みが和らいだ  
大学病院にて月1回遠隔療法を受けていたが、  
担当医の転勤にて中止
- 74歳    気温が低下すると鼻炎になる
- 初診時    10年前より痛みは軽い  
左頬～唇、上歯茎の痛み  
痛くてものが噛めない  
冷え性(+) 睡眠が浅い  
肩こり(+) 首の硬さ(+)

# 症例 6 74歳 女性 1/2

主訴: 右額から目のまわりが激痛

## 病歴

小学校

扁桃腺の摘出術

15～20年前

外出後、左足のみ浮腫出現

10年前

健康診断にて、心臓の再検査を進められるが放置

5～6年前

看病疲れにて、強度に精神的落ち込む

# 症例 6 74歳 女性 2/2

- 4～5年前 目が覚めた時、急に右額から髪の毛の生え際に激痛出現  
夜間診療にて鎮痛薬が処方  
翌日皮膚科への受診を指導されるが放置
- 発症より2～3日後 右目周辺へ痛み拡張、右眼球外転運動障害出現  
皮膚科受診⇒帯状疱疹薬を服用
- 服用1～2週間 眼球運動改善  
軽減した痛みが続く  
(AyI内側、AyII、TyI)



# 症例 7      61歳男性

病歴:

幼少期から アレルギー性鼻炎

15歳            脳震盪にて一時的に意識消失

その後頭痛が発生する。発生場所は一定せず、天気の変化により頭痛がよく発生する

33歳            右耳鳴、現在に至る

その他        動悸、不眠、記憶力低下、情緒不安定

4 - 5年前から    嗅覚低下    一部の匂いが分からなくなる

# 症例 8

60歳

女性

1/2

病歴:

30年前 不眠、自律神経失調

10数年前 頸肩の痛み、重み

夜間に手の痺れ(左>右)、左手脱力

10年前 後頭部痛み、眩暈

半年前にも再発し、喉に異物感あり

8-9年前 鼻閉、怒りやすい、胃腸不良、

吐気、動悸、便秘不良、時々腰の重さ

# 症例 8    60歳    女性    2/2

- 4-5年前から    朝起きると両下腿は重だるい
- 2-3年前        右顔面痙攣、耳鳴り、騒音過敏  
両足第2趾腫脹、関節に変形を  
認めた
- 1年前から      免疫力低下、風邪を引きやすい、  
視力低下

# 症例 9 32歳 女性 1/2

主訴: 偏頭痛

病歴

14歳 偏頭痛 こめかみ中心(左:右 7:3)

※天候が崩れる前

両眼眼振、吐気、低血圧(80/50)

自律神経失調症と診断 半年程服薬

その後適宜 市販の鎮痛剤を服用

15歳 重い月経痛(現在軽減傾向)

17歳 自転車にて車と軽い接触⇒後遺症なし

腰椎ヘルニア

# 症例 9 32歳 女性 2/2

- 20歳 じんま疹(腕、大腿など)  
⇒初診時までほぼ毎日、夜、数時間で消える
- 25歳 頭が割れそうに痛む日があり、転職  
初診時 月に10日程度痛む  
痛み始めると3回/日 鎮痛剤服用
- 30歳 転倒しやすくなる  
初診半年前 転倒し右前頭部を打撲  
初診1か月前 転倒し仙骨部を強打  
初診1週間前 滑って転倒 左大腿外側部打撲  
初診時 両眼の疲れやすさ,多汗症(手掌・足底・脇),  
冷え症

# 症例 10 46歳 女性 1/2

主訴：偏頭痛、左踵痛

病歴

幼児期 腹痛・風邪頻回

8歳 自律失調障害と診断される

13歳 月経3日前に偏頭痛

34歳 喘息、アトピー、水疱瘡発症

35歳 出産

臨月に踵痛が1～2日出現

39歳 整体を受ける⇒ひどい眩暈を発症  
病院では、三半規管過敏症と診断

# 症例 10 46歳女性 2/2

- 40歳 偏頭痛に対し市販薬が効かなくなった  
頻度が月3回程度と増加  
症状持続時間延長(以前3~4時間だったものが一日中持続するようになった)  
睡眠障害、イライラ、情緒不安定、不安症  
⇒ひどくなると舌が痺れる  
軽度パニック障害
- 45歳 左踵痛発症  
痛い場所が移動し、痛みの強さも定まらない  
33歳から体重が激しく変動している
- 初診時 左踵痛 左偏頭痛

# 症例 1 1 74歳 女性

主訴:頭痛、不眠、疲れやすさ、

## 病歴

- 20年前 両手指のPIPが腫脹している時期があった  
特に左第4指、こわばり(一)
- 5年前より 血圧上昇、降圧剤服用
- 5か月前 右顔面の痺れ、右上肢(肘～手背)陽経の痺れ  
2週間脳梗塞にて入院(点滴,服薬)  
⇒症状改善
- 初診現在 字を書こうとすると手が振るえる  
頭痛、耳痛、疲れやすい、めまい  
夜間目が覚め眠れない、不安感  
右下肢がつりやすい



# 症例 1 2 13歳 女性1/2

主訴: 左膝の痛みと痺れ、冷感

病歴

12歳 両膝痛出現

両膝内側膝蓋滑膜壁障害と診断

13歳 右側関節鏡視下滑膜切除術施術

1ヶ月後 左側関節鏡視下滑膜切除術施術

術後 左大腿部全体と左肩関節から指にかけて  
触れない強い痛みと痺れ・感覚障害  
激しい安静時痛と著明なアロディニア  
により歩行困難

# 症例 1 2 13歳 女性 2/2

初診時 左膝関節の痛みと痺れ  
左手外側(肩関節～指)及び大腿部の  
内側と外側に触れるピリツとする電撃痛  
左手の外側と左大腿部の内側に触れ  
ると嫌な違和感  
頭痛、冷え症

# 症例 1 3 60歳女性 1/3

主訴: 両膝痛、両手4・5指の陰経痺れ、  
両足底趾付け根の違和感  
歩行時の右脚上げ難さ

## 病歴

- 20年前 声帯ポリープのope(1週間入院)、花粉症
- 8年前 交通事故ガードレール接触にて  
左膝強打し、18針縫合
- 5～3年前 ぎっくり腰(安静で1週間で解消)
- 4年前 右膝の疼痛と腫脹  
⇒整形外科にて膝関節穿刺  
ヒアルロン酸注射1回にて解消

# 症例 1 3 60歳女性 2/3

3年前

両膝痛出現(AxI)

⇒ヒアルロン酸注射、経口薬にて改善せず  
整形外科にて手術を必要としない変形性膝関節症と診断

人間ドックにて肺のサルコイドーシスの疑いと指摘される

右脚の挙上困難出現 頸椎MRI撮影⇒異常  
入院してステロイド治療を受ける

ステロイド50mg/日経口投与⇒20mgまで減量し

# 症例 1 3     60歳女性     3/3

- 3年前     ステロイド50mg/日経口投与  
⇒20mgまで減量し退院  
⇒現在10mg/日  
1回/半年 頸部MRIにて経過観察  
入院した頃より両手指(第4・5指の陰経)違和感  
両足底・足趾の付け根～趾までの違和感  
右脚の挙げ出現 ⇒現在に至る
- 今年2月     急に左膝が痛みで動かせなくなり、大学病院  
              でX-Pとヒアルロン酸注射したが改善なし
- 診察所見     グーパーテスト右陽性  
              右下肢陰経感覚鈍麻

# 症例 1 4      42歳男性      1/2

主訴：項部、後頭部痛、胸部痛、両膝窩部痛、  
右第1手根中手関節痛

病歴

20歳      自転車事故にて頸部痛

37歳      花粉症

風邪を引きやすい

睡眠が浅い、頭がボーッとする

38歳      後頭部痛、項部痛

39歳      腰痛(体位変換不能)⇒2カ月で治癒

40歳      大腸ポリープ

# 症例 1 4      42歳男性      2/2

- 41歳      胸部痛 両側第1, 2胸肋関節  
両側第1, 2肋骨間の胸骨痛  
肋間神経痛、躁鬱病と診断
- 42歳      胸部痛再発 締め付けられる様な痛み(9月)頻脈  
左右肩甲骨部～背部痛出現(10月)  
両膝窩痛  
右第1手根中手関節痛発症(1月)  
十二指腸潰瘍
- 初診時      項部痛、後頭部痛  
前胸部痛、両膝窩痛  
右第1手根中手関節痛発症

# 症例 1 5 55歳女性 1/2

病歴:

- 幼少期 眩暈、顔面蒼白、検査で地中海型貧血症と診断された
- 26年前 手指関節硬直、関節リウマチと診断され、薬物治療を開始  
両上腕から指まで痺れが発生する  
手術後に痛みが消えたが、両手に脱力感
- 20年前 交通事故で腰痛が発生する。心窩部右側から背中まで水疱が出現し、灼熱感が発生  
帯状疱疹と診断される



# 症例 15 55歳女性 2/2

- 13年前 睡眠が浅い、畏光症となる  
また、関節リウマチの服薬を中断したため、  
両手足の関節が変形しつつある
- 10年前 Dry Eye
- 9ヶ月前 頻繁に空咳
- 半年前 検診で腎機能に異常
- 2ヶ月前 右膝の内側から臀部まで帯状疱疹が発生
- 1ヶ月前 検査で、腎機能が20%に低下と診断
- 現在 左頭部の痛みと膨脹感、左頸肩こりと痛み

# 症例 16 84歳女性 1/2

主訴：両手指先端の痺れ(ゴワゴワ感)、  
左頸肩のハリ

病歴：

20代 肩こり

35歳 卵巣肥大(保存的経過観察にて縮小)

40代 食物アレルギー (青魚)

金属アレルギー

60代より 腰痛

66歳 右手関節骨折

68歳 大腸ポリープope

# 症例 16 84歳女性 2/2

78歳 左手関節骨折

79歳 右眼 黄斑変性症ope

83歳 右大腿骨骨折 人工骨頭置換術

左眼 黄斑変性症ope

両手指先端の痺れ(ゴワゴワ感)発症

84歳(現在) 両手指先端の痺れ(ゴワゴワ感)

時々飲み込みにひっかかりあり、空咳

頸後屈困難

耳鳴り

左眼瞼下垂

# 症例 17 42歳女性 1/2

主訴：両腕痛、両下肢の感覚異常と脱力、歩行困難

病歴

35歳 原因不明の高熱で入院

37歳 ギランバレー症候群

両手の違和感を感じ、感覚低下

その後、両足にも同様の感覚低下あり

徐々に動かなくなり、息苦しさ、閉眼不能などの症状も出現

⇒ ギランバレー症候群の診断

# 症例 17 42歳女性 2/2

- 39歳 四肢の麻痺症状は徐々に改善  
リハビリを開始したが両膝内側痛(左>右)出現。  
諸検査で異常(-)
- 現在 両膝痛続く(AxII,AxI) 両手掌の痛触覚低下  
両足背痛低下(左足底痛覚↑)  
両下肢装具使用 グーパーテストは左手弱い  
眼のかすみ(+)口輪筋麻痺(+)(改善傾向)  
頸～肩コリ(+) 頭痛(+)  
冷え(+)(両膝下) 寝つき悪い  
多汗 不正出血×1(最近)

# 症例 18 20歳男性 1/3

主訴: 交通事故後遺症(全身打撲後、頭痛、腰痛、膝痛、嘔気、耳鳴り、めまい等)

## 病歴

以前から 花粉症・アレルギー性鼻炎、先端恐怖症  
事故当時 バイクで走行中に右折してきた車に衝突。  
頭、背部、腰、など全身打撲。  
入院治療をすすめられたが、先端恐怖症のため注射が嫌で入院は拒否。  
M市民病院整形外科の電気治療に通院。  
事故後8ヶ月 MRI検査で左脳に出血の跡があり、  
S大学リハビリ病院に通院治療。

# 症例 18 20歳男性 2/3

事故後12ヶ月後 K大学麻酔科で持続硬膜外ブロック、  
ブラッドパッチ(頸部、腰)実施

事故後17ヶ月後 症状が改善せず、当クリニック受診

〈初診時の症状1/2〉

頭全体が締め付けられる頭痛、  
眩暈(痛みでくらくらする)

耳鳴り(右>左、キーンとする閉塞感)

首がまわらない、目がちかちかして開けていけない  
睡眠障害、睡眠薬効かず。

イライラ感、不安感で眠れず精神科で睡眠導入剤

# 症例 18 20歳男性 3/3

〈初診時の症状2/2〉

抗うつ剤を投薬、2日に1回程度服用

両手握力低下（左手は60Kgから20Kgに、  
右手は78Kgから60Kgに）

両手振戦、両上肢挙上困難、腹筋脆弱化、  
嘔吐、吐き気、嚥下障害（飲み込みにくい感じ）  
腰痛（右＞左）

歩くたびに神経を刺激されているような痛み

両膝痛（右＞左）歩行困難、杖が必要（受診時杖使用）

右膝：内側外側ともに痛みあり、

左膝内側の感覚障害